

## 平成21年10月期 第1四半期決算短信

平成21年3月6日

上場会社名 ナトコ株式会社  
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷忠晴  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 粕谷健次  
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月17日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 JQ

TEL 0561-32-2285

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第1四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年1月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第1四半期	2,484	—	△13	—	△34	—	△161	—
20年10月期第1四半期	3,130	—	301	—	304	—	145	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期第1四半期	△22.11	—	—	—
20年10月期第1四半期	19.85	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年10月期第1四半期	15,151	11,564	73.6	1,522.10				
20年10月期	15,528	11,660	72.9	1,546.33				

(参考) 自己資本 21年10月期第1四半期 11,148百万円 20年10月期 11,325百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	9.00	—	8.00	17.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期(予想)	—	6.00	—	7.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,800	△25.8	△90	—	△110	—	△255	—	△34.82	—
通期	10,400	△20.0	50	△94.7	40	△95.7	△190	—	△25.94	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第1四半期 7,324,800株 20年10月期 7,324,800株

② 期末自己株式数 21年10月期第1四半期 631株 20年10月期 631株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第1四半期 7,324,169株 20年10月期第1四半期 7,324,200株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国の低所得者向け（サブプライム）住宅ローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱による世界経済の急速な減速や為替変動などの影響により、企業業績の悪化が進行し、設備投資の抑制や雇用調整など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは顧客ニーズに即した環境対応型製品や高機能性製品の開発・拡販に取り組むとともに生産性の向上ならびにコストの低減に取り組みました。しかしながら、景気減速に伴う需要の減少による主要取引先の生産調整などの影響を受けたことにより、売上高は減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、2,484百万円となりました。営業損益は、売上的大幅な減少の影響に加え、新たな会計基準として「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）の適用による棚卸資産の評価損を94百万円計上したことにより、13百万円の営業損失となりました。経常損益は、複合金融商品の時価評価による投資有価証券評価損を18百万円計上したことにより、34百万円の経常損失となりました。四半期純損益は、投資有価証券売却損を45百万円計上したことや繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、161百万円の四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①塗料事業

世界経済の急速な減速の影響により、塗料事業全体の需要は低調で推移いたしました。金属用塗料分野では、自動車・機械などの主要産業の生産が低下したことにより、売上高は前年同四半期に比べ大幅に減少いたしました。木工建材用塗料分野では、期初は着工住宅の前期受注残もあり順調に推移しておりましたが、市場在庫の増加による生産調整の影響を受け、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。無機材用塗料分野では、主要ユーザーの新商品向けの受注を獲得したことにより、売上高は前年同四半期並みとなりました。その他の分野では、シンナーの需要が伸びず、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は2,159百万円となりました。

#### ②ファインケミカル事業

ファインケミカル事業におきましても、世界経済の急速な減速の影響により、需要は低調で推移いたしました。LCD（液晶表示装置）用高分子化合物は、LCDメーカーの生産が激減したことにより、売上高は前年同四半期に比べ大幅に減少いたしました。化成品においても、LCD関連分野をはじめとする電子材料用コーティング材料の売上高は前年同四半期に比べ大幅に減少いたしました。また、シリコン系表面機能材料については、電子材料ほどの影響は受けなかったものの、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は283百万円となりました。

#### ③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、経済の急速な減速の影響による自動車産業の大幅な減産に伴い廃液の収集量が減少したことにより、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

その結果、その他の事業における当第1四半期連結会計期間の売上高は41百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ713百万円の減少となり、15,151百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べ486百万円の減少となり、3,586百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ227百万円の減少となり、11,564百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、有形固定資産のその他が199百万円増加したものの、現金及び預金が290百万円減少、受取手形及び売掛金が255百万円減少、投資有価証券が237百万円減少、投資その他の資産のその他が83百万円減少したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が447百万円減少したことによるものであります。

純資産の減少の主な要因は、期末配当金の支払58百万円、四半期純損失161百万円計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,685百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、249百万円となりました。これは主に減価償却費が134百万円、売上債権の減少253百万円による資金の増加と仕入債務の減少443百万円、法人税等の税金の支払84百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、115百万円となりました。これは主に資金運用における信託受益権及び投資有価証券の売却による収入600百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出84百万円、信託受益権及び投資有価証券の取得による支出400百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、54百万円となりました。これは配当金の支払54百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済の先行きは不透明感が強く、厳しい経済環境が継続するものと予想され、主要取引先の生産調整などの回復時期を見通すことが困難な状況であります。第1四半期連結会計期間における業績の推移を勘案し、平成20年12月11日発表の「平成20年10月期決算短信」において発表した平成21年10月期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「平成21年10月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ94,049千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,740,799	4,031,797
受取手形及び売掛金	3,537,619	3,793,222
有価証券	99,925	—
商品及び製品	769,421	771,516
仕掛品	38,646	62,066
原材料及び貯蔵品	306,780	338,551
繰延税金資産	120,567	111,020
その他	609,748	600,498
貸倒引当金	△6,618	△7,096
流動資産合計	9,216,890	9,701,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,964,927	2,015,268
機械装置及び運搬具（純額）	903,988	953,975
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	417,347	218,292
有形固定資産合計	4,999,734	4,901,007
無形固定資産	106,313	114,140
投資その他の資産		
投資有価証券	521,856	759,501
その他	311,222	394,392
貸倒引当金	△4,647	△5,672
投資その他の資産合計	828,431	1,148,220
固定資産合計	5,934,478	6,163,368
資産合計	15,151,368	15,864,945
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,291,143	2,738,202
未払法人税等	6,834	90,870
賞与引当金	91,148	216,015
役員賞与引当金	750	28,950
その他	828,888	651,844
流動負債合計	3,218,764	3,725,883

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	55,679	43,527
役員退職慰労引当金	167,835	183,405
その他	144,380	120,230
<b>固定負債合計</b>	<b>367,895</b>	<b>347,163</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,586,660</b>	<b>4,073,046</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	7,252,211	7,472,744
自己株式	△2,427	△2,427
<b>株主資本合計</b>	<b>11,164,884</b>	<b>11,385,417</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△36,226	△32,057
為替換算調整勘定	19,447	37,243
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△16,779</b>	<b>5,185</b>
少数株主持分	416,603	401,295
<b>純資産合計</b>	<b>11,564,708</b>	<b>11,791,898</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,151,368</b>	<b>15,864,945</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
売上高	2,484,382
売上原価	2,012,088
売上総利益	472,293
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	485,978
営業損失(△)	△13,684
営業外収益	
受取利息	3,666
受取配当金	2,001
その他	9,759
営業外収益合計	15,427
営業外費用	
支払利息	162
売上割引	5,453
投資有価証券評価損	18,292
為替差損	12,176
その他	0
営業外費用合計	36,085
経常損失(△)	△34,342
特別利益	
貸倒引当金戻入額	670
投資有価証券売却益	2,280
特別利益合計	2,950
特別損失	
固定資産処分損	4,701
投資有価証券売却損	45,077
特別損失合計	49,779
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,171
法人税、住民税及び事業税	3,764
法人税等調整額	60,820
法人税等合計	64,584
少数株主利益	16,183
四半期純損失(△)	△161,939

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,171
減価償却費	134,227
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,502
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,152
受取利息及び受取配当金	△5,667
支払利息	162
投資有価証券売却損益(△は益)	42,797
投資有価証券評価損益(△は益)	18,292
固定資産処分損益(△は益)	4,651
為替差損益(△は益)	9,900
売上債権の増減額(△は増加)	253,275
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,949
仕入債務の増減額(△は減少)	△443,956
その他	△164,906
小計	△169,794
利息及び配当金の受取額	5,444
利息の支払額	△162
法人税等の支払額	△84,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△249,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△84,698
有形固定資産の売却による収入	1,695
信託受益権の取得による支出	△400,000
信託受益権の売却による収入	400,919
無形固定資産の取得による支出	△5,810
投資有価証券の取得による支出	△369
投資有価証券の売却による収入	199,850
長期貸付金の回収による収入	5,634
敷金及び保証金の差入による支出	△402
敷金及び保証金の回収による収入	25
その他	△931
投資活動によるキャッシュ・フロー	115,912
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△54,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,609
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△191,072
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,685,725

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,159,569	283,452	41,360	2,484,382	—	2,484,382
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,159,569	283,452	41,360	2,484,382	(—)	2,484,382
営業利益又は営業損失(△)	35,808	△15,300	18,474	38,982	(52,667)	△13,684

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品

塗料事業	合成樹脂塗料及びシンナー
ファインケミカル事業	LCD用高分子化合物、高機能性樹脂
その他の事業	廃溶剤の収集運搬

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益が塗料事業で4,813千円減少、営業損失がファインケミカル事業で89,236千円増加しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,130,157
II 売上原価	2,266,293
売上総利益	863,863
III 販売費及び一般管理費	561,882
営業利益	301,981
IV 営業外収益	14,695
V 営業外費用	12,546
経常利益	304,131
VI 特別利益	431
VII 特別損失	1,475
税金等調整前四半期純利益	303,087
税金費用	141,130
少数株主利益	16,591
四半期純利益	145,364

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年1月31日)

	前年同四半期 (平成20年10月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	303,087
減価償却費	153,020
売上債権の増減額	361,379
たな卸資産の増減額	△130,547
仕入債務の増減額	△24,864
その他	△168,277
小計	493,798
利息及び配当金の受取額	8,899
利息の支払額	△32
法人税等の支払額	△340,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,327
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△415,009
有形固定資産の売却による収入	2,047
無形固定資産の取得による支出	△12,600
信託受益権の取得による支出	△400,000
信託受益権の売却による収入	400,885
投資有価証券の取得による支出	△71,276
投資有価証券の売却による収入	3,129
関係会社長期貸付金の回収による収入	834
その他	△1,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493,073
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△1,370
配当金の支払額	△117,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,880
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,156
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△453,781
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,001,403
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,547,622

6. その他の情報

(1)生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
塗料事業 (千円)	2,184,072
金属用塗料 (千円)	811,257
木工建材用塗料 (千円)	539,994
無機材用塗料 (千円)	473,227
その他 (千円)	359,592
ファインケミカル事業 (千円)	309,294
合計 (千円)	2,493,366

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 上記の実績のうちには、外注生産によるものが各種類ごとに含まれております。

(2)受注状況

当社グループは、見込生産によっておりますので、該当事項はありません。

(3)販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)
塗料事業 (千円)	2,159,569
金属用塗料 (千円)	822,022
木工建材用塗料 (千円)	548,382
無機材用塗料 (千円)	480,569
その他 (千円)	308,595
ファインケミカル事業 (千円)	283,452
その他の事業 (千円)	41,360
合計 (千円)	2,484,382

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。